



沖縄県立図書館
公式ホームページ
QRコード

Q. 沖縄ではいつから豚肉料理がさかんになったのですか？

A. 豚肉料理は沖縄料理の中で最も代表的であり、ラフテー、ソーキ汁、足ティビチ、イナムドゥチ、ミミガー、ナカミの吸物、血イリチーなど様々な料理が挙げられます。「鳴き声以外全て食べる」と言われているほどで、肉だけでなく、頭から足の先、血や内臓に至るまで余すことなく利用されています。

しかし、実は沖縄で養豚が盛んになるのは17世紀頃からです。庶民の食生活に豚肉食が定着するのはさらに後の18世紀半ばです。それ以前は牛肉の方が人々の生活に根付いていたそうです。

先史時代に豚の飼育がおこなわれていたとの説はありますが、文献として沖縄で家畜としての豚の飼育が確認できるのは、15世紀以降です。『朝鮮王朝実録』には、琉球に漂流して送還された人々の報告があり、それによって15世紀当時の様子を知ることができます。当時の沖縄本島ではこの時期には豚を家畜として飼育していたとの記録がありますが、全体としては、牛の飼育と牛肉食が広く行われていたようです。

このような中、17世紀にはいと首里王府は牛の屠殺について禁令を出します。その目的は庶民の贅沢を戒めるということだけでなく、牛が農耕用の役畜であることから、勸農政策の一環として牛の屠殺を禁じたものとされています。

しかし、だからといって豚肉食がすぐに庶民に普及したわけではありません。17世紀初頭に野國総管によって中国から甘藷(サツマイモ)がもたらされるまでは、豚を飼育する十分な余裕はありませんでした。甘藷が普及したことによって、その皮や葉、茎などを豚の飼料として活用できるようになり、養豚が盛んになってきます。

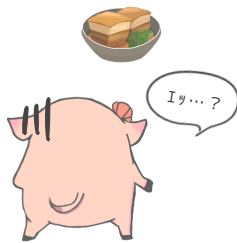
18世紀に入ると、王府は養豚を奨励する政策をとります。中国から冊封使が渡来した際の接待料理に大量の豚が必要だったためです。蔡温の「独物語」によれば、以前は冊封使をもてなすために毎日20頭の豚が必要でしたが、沖縄本島だけでは賅えず奄美群島からも取り寄せていたこと、その後養豚が普及した結果、「独物語」を執筆する頃には毎日40～50頭を屠殺しても、首里、那覇、泊近郊の豚だけで十分に賅えるほどに繁栄したことが記されています。

こうした接待などを通じて、中国食文化の影響を受け、この頃から、庶民の間にも豚肉料理が定着し始めたようです。当時の庶民にとって、正月や節日などには必ず豚肉料理を食べる習慣はありましたが、依然、特別な日のご馳走であり、日常的に豚肉料理を食べていたわけではありませんでした。

甘藷が庶民の主食として定着したことや、王府による養豚の奨励、屠殺業者の増加などによって豚肉食は私たちの生活に根ざしていったのです。その結果、明治期に入ると沖縄の豚の生産量は日本一にまで発展しました。(平良)

参考文献

- 池谷望子ほか『朝鮮王朝実録 琉球史料集成【原文篇】』榕樹書林、2005年
- 沖縄大百科事典刊行事務局編『沖縄大百科事典 下巻』沖縄タイムス社、1983年
- 金城須美子「沖縄の食文化に関する一考察—その変遷と背景—」芳賀登監修『全集 日本の食文化 第8巻 異文化との接触と受容』雄山閣出版、1997年
- 金城須美子「沖縄の食文化—料理文化の特徴と系譜」比嘉政夫編『海洋文化論』凱風社、1993年(環中国海の民俗と文化 第1巻)
- 金城須美子「史料にみる産物と食生活—『李朝実録』と『冊封使録』をめぐって—」『新沖縄文学』第54号、沖縄タイムス社、1982年
- 比嘉理麻『沖縄の人とプター産業社会における人と動物の民族誌』京都大学学術出版会、2015年
- 古家 信平ほか編『日本の民俗12 南島の暮らし』吉川弘文館、2009年
- 外間守善『沖縄の食文化』筑摩書房、2022年
- 宮本 常一ほか編『日本庶民生活史料』第1巻、三一書房、1968年



利用案内

開館時間 9:00 ~ 20:00

休館日 火曜日・年末年始・特別整理期間

※図書館専用の駐車場はありません。近隣の有料駐車場をご利用ください

- 館内への食べ物の持ち込みはご遠慮ください
飲み物は、密閉できる容器であればお持ち込みいただけます
※5階郷土資料室は完全飲食禁止です
- 携帯電話などの通信機器はマナーモードに設定してください
お電話は4階・5階の電話ボックスをご利用ください
- 館内には撮影禁止です。撮影には別途申請が必要です

図書館カレンダー 3月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

■ は休館日です。

日差しに春の気配を感じる季節となりました。3月は、別れと出会いの季節でもあります。卒業や進級、新しい環境への準備で慌ただしく過ごされている方も多いのではないのでしょうか。

そんな時こそ、図書館で静かに本を開く時間を大切にしてみませんか。今月の新着図書では、沖縄の歴史を繋ぐ記録から、世界の現状を知る1冊、そして心温まる親子の物語など、新しい季節を前に読んでみたい1冊を紹介しています。その他、さまざまな機関と連携した企画展示も行っております。あなたの心に寄り添う1冊を見つけに来ませんか？



ご協力ください 図書館利用者アンケート

皆様にとってより使いやすく、親しまれる図書館を目指し、アンケートを実施いたします。「もっとこうしてほしい」「ここが良かった」など、率直なご意見をお寄せください。お寄せいただいた声を参考に、さらなる運営の改善に努めてまいります。回答は下記のQRコードか館内アンケート用紙よりお願いいたします。



課題

本の検索をしてレシートを出しても棚の番号が出ないから目的地までたどり着けない。

アンケートをもとに図書館運営を改善しました！



レシートに棚番号が表示されるようにシステム改修を行いました。



県立図書館



課題

自習席が使いたいときに使えません。



ネット予約で自主学習席の確保がスムーズに！現在の空き具合もリアルタイムで分かるようになりました。



県立図書館



アンケートは5分～10分程度です。

お時間のある際にぜひご参加ください。

受付期間

2026年 3月30日(月) まで

※無記名調査のため、個人が特定されることはありません。いただいたご意見は、サービス向上のための資料としてのみ使用いたします。
※館内にアンケート用紙もごさいます。



登録スタッフ おすすめ 新着図書紹介

沖縄県立図書館では、毎週水曜日に新着図書が新着図書コーナーに展示されます。ここでは「県立図書館の本のデータ登録」をしているスタッフが「これぞ！おすすめ！」と感じた本をご紹介します。 ※こちらで紹介された本は新着図書コーナーに展示した後、それぞれ本棚に戻されます。貸出、予約は資料コードをご活用ください。

■郷土資料（琉球・沖縄関係資料）5階

戦前・沖縄文化の近代-

沖縄県立博物館・美術館／編、大城さゆり／編、亀海 史明／編
出版：沖縄県立博物館・美術館 出版年：2025.12

内容紹介

「新しい戦前」という言葉が語られる今、「かつての戦前」の姿を私たちはどれほど知っているのでしょうか。本展では、琉球国が沖縄県となった「世替わり」から太平洋戦争へと至るまでの美術、工芸、メディアを通して、文化と戦争の関係を見つめ直します。沖縄の戦前の美術史の概論・入門となる一冊です。

予約用資料コード 1010416863



渋谷秀雄の沖縄戦中日記 沖縄県立農林学校最後の校長

渋谷 秀雄／著、手塚 好幸／編 出版：手塚好幸 出版年：2025.10

内容紹介

沖縄県立農林学校の最後の校長、渋谷秀雄氏が戦前、戦時下を綴った日記・方言メモ・エッセイ原稿に解説を付けた1冊です。「学校が学校でなくなる姿」に衝撃を受けて、書き遺された記述からは、軍との関わりや避難先での飢餓など、戦下の凄惨な実相が静かに迫ります。教育者が極限状態で捉えた真実を、沖縄の歩みとして後世へ語り継ぎたい方必読です。

予約用資料コード 1010625109



沖縄まちかど本屋さんかくたり記

11の古書店と3つの地域書店

たまき まさみ／編著 出版：ポードーインク 出版年：2025.10

内容紹介

沖縄のフリーライターが、県内の古書店や地域書店を訪ね歩き、14名の店主の人生を丁寧に掲げ上げたインタビュー集です。なぜ本屋になったのか、どのように店を続けてきたのか。店主たちが語る本との出会いや生い立ちは、街の文化を支える情熱に満ちています。本を愛する方はもちろん、沖縄の街歩きや人との繋がりを楽しみたい方にもお勧めです。

予約用資料コード 1010582102



■一般図書 4階

ブラッド・コバルト コンゴ人の血がスマートフォンに変わるまで

シッタルタ・カラ／著、夏目 大／訳 出版：大和書房
出版年：2025.10

内容紹介

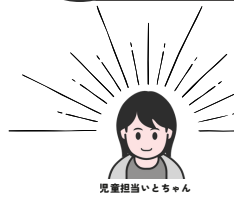
スマホや電気自動車のバッテリーに不可欠なコバルト。その世界需要を支えるコンゴ民主共和国での児童労働や現代の奴隷採掘、人身売買の凄惨な実態を、現地の人々の証言から暴き出す衝撃作です。潤う世界と、搾取され続ける最貧国の地獄のようなリアルが描かれています。クリーンな技術の裏側に隠された、現代の植民地支配の構造を知りたい方にお勧めです。

予約用資料コード 1010562666



わらびんちゃ〜だより

子ども読書活動推進エリア担当職員が
今月のおすすめ本を紹介します♪



3月15日は「靴の記念日」です。
ピカピカの新しい一足を履いてお出かけすると、なんだか心がワクワクしませんか？
反対に、どろんこで汚れてしまうと悲しい気持ちになることもありますね。
楽しいときも悲しいときも、ずっと一緒にいてくれる「一番のなかよし」。
そんなくつたちを、もっと好きになる3冊をご紹介します👞

えほん

2歳〜におすすめ

くつがじまんのむかでさん

松谷 みよ子／ぶん、ひらやま えいぞう／え 童心社 1990.2



むかでさんはくつをいっぱいはいくからあしがはやいのです。ある日、むかでさんたちはちょうちょうさんのパーティーに招待されました。たくさんごちそうをたべて楽しいパーティーになりましたが、はちさんのおなかが痛くなってしまいました。あしがはやいむかでさんがおいしゃさんをよびにくことになりましたが……。予想外の結末に思わず笑ってしまいます。

予約用資料コード 1000981868

えほん

4歳〜におすすめ

さきちゃんのくつ

そうま こうへい／作、まるやま あやこ／絵 フレーベル館 2016.4



新しいくつを買ってもらって大よろこびのさきちゃん。でも、玄関にあるふくくなった「うさちゃんのくつ」をみて、寂しい気持ちになります。「もしかして捨てられちゃうかもしれない……」と不安がるさきちゃんを見て、お母さんは素敵なアイデアを思いつきます。持ち物を大切に思う気持ちがめばえた、子どもの心の成長に寄り添う物語です。

予約用資料コード 1007863564

- 全国学校図書館協議会選定図書
- 第27回けんぶち絵本の里大賞びばからす賞

3月の空とぶとしょかん

沖縄県立図書館では、図書館未設置町村等の住民に読書機会を提供するため、空とぶ図書館(移動図書館)を開催しています。

東村

3月8日(日) 10時半〜16時
会場：東文化・スポーツ記念館

本のリクエスト
東村教育委員会
☎0980-43-2130 (比嘉)

ご相談ください！

- ・読みたい本の取り寄せ方法
- ・県立図書館電子書籍の見かた
- ・調べもののお手伝い
- ・お仕事関連の課題解決 など



たくさんのお話を聞かせてあげたい！



※2025年3月開催時の様子

展示案内 沖縄県立図書館で予定されている展示をご紹介します。

自主企画展示 3階・4階・5階展示

2/11~3/2	春の日本文化展示
2/11~3/16	新収蔵資料展
2/18~3/2	「新書も、凄い」展示
2/18~3/2	猫の日展示
2/25~3/9	サイバーセキュリティ展示
3/4~3/16	映画展示(第2弾)
3/4~3/16	ガウディ没後100年建築展示
3/11~3/23	WBC20周年記念展示 We love Baseball Collection (TRC)
3/18~3/30	健康・医療情報冊子配布
3/18~4/20	年齢別おすすめ絵本展示
3/25~3/30	素晴らしきエッセイの世界
3/25~4/6	安野光雅生誕100周年展示
3/25~4/13	新生活応援展示

※展示によっては内容・日程等変更がある可能性もあります。ご了承ください。

外部企画展示 3階展示エリア

2/4~3/2	県対馬丸平和学習交流事業報告パネル展	知事公室 平和・地域外交推進課
2/25~3/9	女性の健康週間関連展示	沖縄県健康長寿課
2/25~3/21	JICA海外協力隊パネル展	JICA沖縄
3/11~3/16	差別のない社会づくり条例関連展示	沖縄県女性力・ダイバーシティ推進課
3/11~3/16	沖縄県子どもの権利尊重・虐待防止普及啓発事業展示	沖縄県子ども未来部 ことども若者政策課
3/18~3/23	おでかけ！沖縄県議会×県立図書館	沖縄県議会
通年	生涯学習 沖縄県民カレッジ	沖縄県教育庁 生涯学習振興課
通年	・美ら島沖縄学講座 令和7年度報告展示	
	博物館・美術館企画・関連展示	沖縄県立博物館・美術館

子どもの読書活動推進エリア

2/18~3/2	【絵本・子どもの本】テーマ：山
2/18~3/9	【ティーンズ】テーマ：エッセイ
3/4~3/16	【絵本・子どもの本】テーマ：春をみつけよう！
3/11~4/6	【ティーンズ】テーマ：料理本
3/18~3/30	【絵本・子どもの本】テーマ：ねむる

